



共に生き 共に育つ

あなたと、ご家族と、これからの日々のために

デイサービスは、ただ「預かる」場所ではありません。ご本人らしい毎日を守り、ご家族の安心を支え、地域とともに歩いていくための場所でありたいと考えています。このパンフレットでは、私たちが日々の現場で大切にしていることをお伝えします。

1. 私たちが、いちばん大切にしていること すべてのケアの、心の土台

- 「その人らしさ」を、一日でも長く 目の前のご利用者様を大切に、その方らしい生活を一日でも長く続けていただくこと。それが私たちのケアの目的です。
- 笑顔と安心を、いつも中心に 「ご利用者様が何を望んでいるか」「どうすれば安心して過ごせるか」をいつも中心に考えています。
- まず、丸ごと受け止める 判断せず、評価せず、まずお話を聞く。相手の立場にそっと身を置き、その方の気持ちや人生を受け止める姿勢を大切にしています。
- 心を整え、お迎えする準備 清潔・安全・整った空間は「掃除」ではなく「お迎えする準備」。深呼吸できる清らかな空間を、毎日整えています。
- あたたかいチームが、ケアの質になる スタッフ同士が安心して本音を話せる関係を大切にしています。その温かさは、そのままご利用者様へ伝わります。
- 介助者ではなく、人生の伴走者 役割を超え、人生の先輩として敬意を持って関わります。見えにくくなっている力を引き出し、自信を取り戻せるよう支えます。

「今日の自分のケアは、本当に利用者様のためだったか。」

私たちは一日の終わりに、この問いをやさしく振り返るようにしています。

2. ご家族と、一緒に見守る デイでの小さな変化を、大切にお伝えします

ご利用者様の「良い変化」は、ご本人だけのものではありません。ご自宅で見守るご家族にとって、何よりの安心や喜びにつながると考えます。連絡帳や送迎時のひと言で、その日あった小さな良いことを、具体的にお伝えするようにしています。

デイでの出来事	ご家族からの声
表情が明るくなった、よく笑うようになった	「家でも活動的になった」「デイの日は自分から支度するようになりました」
歩く距離が伸びた、立ち上がりが楽になった	「自宅での介助が少し楽になりました」「一緒にお出かけを楽しめるようになって、喜んでいます」
他の利用者様との会話が増えた	「デイでの出来事が会話のきっかけになります」
体調の変化に早く気づき、報告することで体調が整う	「早めに体調の変化に気づいてもらえて助かった」



ご利用者様の笑顔や回復は、ご家族にとって何よりの喜びだと考えています。
その様子を言葉にしてお伝えすることも、私たちの大切な役割のひとつです。

3. 野芥デイでの、ある一日 ご本人の生活リズムに寄り添う一日

時間	内容
8:30～	お迎え・水分補給・健康チェック
10:15～	朝の会(体操・歌)
10:30～	個別機能訓練・物理療法・活動・入浴(リフト浴もあります)
12:30～	昼食・口腔ケア
13:00～	コーヒータイム・休息
14:00～	個別機能訓練・物理療法・活動
15:00～	おやつ
15:30～	レクリエーション
16:30～	帰りの会・お見送り

4. 当たり前の生活をつづけるために 7つの日常動作と、認知機能トレーニング

7つの日常動作に加えて、認知機能トレーニングも意識しながら、お一人おひとりに合わせた機能訓練を実施しています。

バランスを保つ	歩く	認知する
立ちあがる	座る	脱ぐ・着る
食べる	排泄する	入浴する

5. デイに通うことで、生まれる変化 私たちが目指している、5つの成果

カテゴリー	期待される変化
生活基盤の安定と健康	食事・入浴が整い、体調の変化にも早めに気づけます。
自立度の向上	専門的な訓練や活動を通じ、自分でできることが増える・維持できます。
豊かな人間関係と社会性	仲間と共感し合い、「人の役に立てた」喜びを感じられます。
大切な家族との時間	介護されるご家族の負担が軽くなり、デイでの出来事が会話のきっかけになります。
趣味・生きがい・自信の回復	昔の趣味を再開したり、新しいことに挑戦。「自分には出来る事、楽しめることがある」という喜びが自信につながります。

6. ケアマネジャーの皆様へ 同じ想いを持つ、パートナーとして

私たちが目指すのは、ケアマネジャーの皆様の想い「利用者様が住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けること」——です。「ケアマネジャーの皆様と一緒に、利用者様のために何ができるか」を、日々問い続けています。

- ・ 計画書に込められたご本人・ご家族の思いを理解し、日々の関わりとして実践します
- ・ 小さな変化・気づきも、速やかに正確に報告します
- ・ ご利用者様・ご家族からの声も、誠実にお伝えします
- ・ 困りごとや課題も含め、一緒に考える姿勢を大切にします
- ・ BCP(業務継続計画)を整え、有事の際にも「サービスの提供を継続する」「できるだけ早く再開する」体制があります
- ・ 虐待防止・身体拘束廃止の研修を通じ、日々のケアを振り返り続けています

「野芥デイに任せて間違いなかった」と言っていただけ。

その安心と信頼は、特別な日ではなく、毎日の丁寧なケアと、その様子を伝える積み重ねの中から生まれると、私たちは考えています。

7. 地域とともに、開かれた事業所へ ふたつの「地域」を、大切につなぐ

【事業所にとっての地域】 町内会・地域の行事・ボランティアの受け入れなど、私たち自身が地域に根を張り、顔を知られていく取り組みを続けています。何か困ったとき「あそこに相談すればいい」と思い出していただけの存在を目指しています。

【ご利用者様にとっての地域】 なじみの喫茶店や町内会の仲間、旧友——それぞれのご利用者様が生きてこられた場所や人間関係も、大切な生活の資源です。そのつながりを取り戻すお手伝いも、私たちの役割のひとつです。

共に生き 共に育つ

見学・体験利用、介護に関するご相談など、お気軽にお問い合わせください。



社会福祉法人アイリス 野芥デイサービスセンター

住所: 福岡市早良区野芥4丁目31-4

電話: 092-873-7008 (受付 8:30~17:30)

担当 管理者: 芹澤健一 生活相談員: 永留朋子 羽田野紀子 古賀昌寛



いつも野芥デイサービスセンターをご利用いただき
ありがとうございます。

「無料体験」実施中！

お元気な方から医療ケアが
必要な方まで幅広く
ご利用いただいています。

